第175号
平成31年
1月

フクタニュース

発行
(株)フクタ

新春特大号

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。
昨年はフクタをご愛顧いただきまして
ありがとうございます。
皆様のご要望に少しでもお応えできました
でしょうか。
本年もさらなるサービス・品質向上に向け、
気持ちを新たに取り組んでまいりますので
お気付きのことは何なりとご指導いただけ
ればさいです。
本年も変わらぬご愛顧の
ほど心よりお願い申し上げます。

平成三十一年 元日

ころがる石 中田勇司コラム

新年あけましておめでとうございます！本年も宜しくお願い申し上げます。先月は私のコラムお休みさせていただき失礼いたしました。年齢と共にちょっとだけ・・「きてるかな～～」なんて思う時もあるようになってきた今日この頃、やはり還暦が近づくとそれなりに能力は衰えてくるものだとつくづく実感しております。「愛」の反対の言葉は「無関心」！全てのものに愛を注がなければならないが、ある程度「無関心」ともいえる「鈍感力」も必要ですよね。ここにきてさらに「鈍感力」に磨きをかけなければと思う次第です（笑）。　世の中はめまぐるしく、トランプだ、韓国だ、中国だ、自民党だ、野党だ・・・なんだかんだで、グルグル世は動いているわけですが、所詮命尽きたらそれでおしまい。何十億懐に入れようが、自分なりこれと思う地位を獲得しようが、最後は裸で土に還っていく・・その後に残るものはその人が行ってきた名残りだけ。
まだ若輩の身ではあるがつくづくそう思います。今年は平成が終わり新たな年号になり日本もまた新しい時代へ入ります。心新たにして新時代にふさわしい生き方を貫いていけたらと思います。

最後にご縁ある方にとりまして素晴らしい一年になりますことをご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

追伸

東北シニアカーリング選手権大会で準優勝し東北代表として全国シニアカーリング選手権大会（3/7-3/10於青森）に出場することが決まりました！

ヤッター＼(^o^)／

ふるさと発見

岩手の企業と現役学生との交流の場として、「ふるさと発見大交流会」が12月15日、岩手産業文化センター「アピオ」で開催されました。今年も砕石業を知ってもらうため、工藤君と白谷君を案内役に展示参加させていただきました。

普段聞いたこともない企業や何をやっているかわからない企業もあり、今話題の「下町ロケット」のモデル企業となったバルブシステムの開発製造企業の（株）フジキンの江刺工場など、世界に肩を並べる企業もあり、学生ならずとも発見のある交流会でした。

当社のブースにも50名ほど立ち寄っていただき、砕石の製造工程、役割、社員の日常等について紹介させていただきました。

寒い日でしたが快適なアピオ

広くてゆとりのある会場

熱のこもった新人白谷君の説明

前方不注意

朝、休憩室のカギを開けようとしたら、部屋が寒い。目を凝らすと引き戸のガラスが全くない。盗人？クマ？セコムしてるのになんてこった。と思いつつ足元を見ると何か物体が・・・明かりをつけるとガラスの破片の上にメスのキジが息絶えていた。傍にネギでもあれば絵になるかもと、不謹慎なことを考えてしまった。しっかり前を見て歩きましょう。

休憩室のガラスを半面すべて割る勢いで突っ込んでしまったようです。

初夢

～ 山からロケット ～

当社が某鉄工所と研究を進めていた「火薬推進型飛行運搬機」がついに完成した。火薬の爆発エネルギーを超耐圧タンクに貯蔵し、推進エネルギーとするもので、噴射バルブの制御技術は、佃製作所から技術供与を得た。火薬１ｋｇで10ｔの荷物を載せて、60ｋｍの飛行が可能である。目標精度はグーグルマップ程度の精度があり、10m四方の荷下ろし場所が必要となるが、無人化、長距離運搬が実現された。
これにより東京オリンピックの砕石需要をカバーし、世界各国からのお客様に日本の「おもてなし」をすることができたのであった。めでたし　めでたし

～ ところてん式 ～

破砕切断と圧縮固化を１台でこなす画期的な機械を開発した。

商品名「固メール１号」名前は頼りないが、性能は実にパワフル。排出口に交換式超高強度仕切り板があり、原料投入後、後部から強力シリンダーで押し出すことにより、密度３.５までの固体の切断ができる、仕切り板は標準が正方形で、オプションで菱型、丸型、星型ができる。圧縮固化は、排出口に超高強度遮蔽板を設置して、粉体を密度２.８まで圧縮可能である。
圧縮時に顔料を添加することで、多色の骨材製造が可能となった。これにより、「骨材2005-密度2.65-緑」とか「化粧板　15×15-密度2.20-赤」というように、製品アイテムが劇的に増加し、資源の有効活用ができ、世の中が明るくなった。

安でsite

～ 進化の素 ～

夏目漱石は草枕の冒頭、「とかくにこの世は住みにくい」と言っている。明治人にも古代人にも生死にかかわる自然の脅威や、思い通りにならない苦悩はあった。ヒトが小さなネズミほどの哺乳類から現在の頭脳を獲得できたのは、ストレスを克服してきた賜物であろう。順応性や耐性により、砂漠の酷暑やシベリヤの極寒の中でも生き延びてきた。それはストレスが進化の源泉となっているからなのだ。
ストレスのない社会を目指している現代。生き物としてのヒトは進化の船に乗り続けられるのだろうか。

初 体 験

年末恒例の安全パトロールを実施しました。
二戸管内の４工場をパトロールし、二戸パークホテルで意見交換を行った後、二戸警察署の安全運転研修を実施しました。

今回は運転シミュレーターによる運転研修の中途で懇親会を開会し、飲酒後に再度シミュレーターに挑戦し、飲酒運転を疑似体験するという進行で実施しました。ハンドルわきにビールを置いて、飲みながら運転など、ありえない経験をすることができました。結果は、飲み始めということもあり、大きな差は出ませんでしたが、反応が鈍るのだと体感することが出来ました。二戸警察署交通課さんの協力あってのことです。ありがとうございました。

右手にビール、左手にハンドル

雪中パトロールとなりました。

編集後記

あけましておめでとうございます。今年６月でこのフクタニュースも１５歳になります。今年も皆様にご笑読いただけますよう頑張ってまいりますので、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。
年末に集金に行ったお客様のとこで、最近見たことのない立派な門松が飾ってありました。聞くと従業員の方がお造りになったんだそうです。そこから会社を思う心を感じました。ステキ♡だなぁ…と思いました。